

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業428社を対象に実施し、365社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成20年4月～6月の実績、平成20年7月～9月の見込み、平成20年10月～12月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成20年6月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	199	179	89.9%
非 製 造 業	225	189	84.0%
計	424	368	86.8%

日銀が7月3日に公表した、北陸の金融経済月報（2008年7月）によると、北陸の景気は、「輸出が増加を続けているものの、エネルギー・原材料価格高の影響などから、減速感が幾分増している。

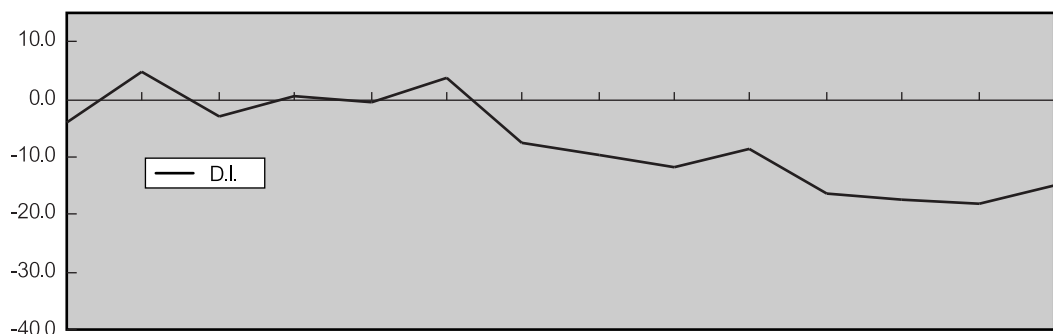
最終需要をみると、輸出は増勢がやや鈍化しつつも、増加を続けている。設備投資は高水準の投資を継続してきたこともあって、このところ一服感がうかがわれる。個人消費は弱含んでいる。公共投資や住宅投資は前年を下回っている。

先行きについては、海外経済やエネルギー・原材料価格の動向等が実態経済に与える影響を見極めていく必要がある。」としている。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別	（%）													
	17 年		18 年				19 年				20 年			
種別	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
良 い	17.7	22.2	19.1	19.7	18.3	20.9	17.6	13.4	13.6	14.6	12.6	12.9	9.7	9.2
普 通	60.7	60.3	58.7	61.3	62.9	61.8	57.4	63.5	61.1	62.3	58.4	56.6	62.5	66.9
悪 い	21.6	17.5	22.2	19.1	18.8	17.2	25.0	23.0	25.3	23.1	29.0	30.5	27.8	24.0
D . I .	-3.9	4.7	-3.1	0.5	-0.5	3.7	-7.4	-9.6	-11.8	-8.5	-16.4	-17.6	-18.1	-14.8

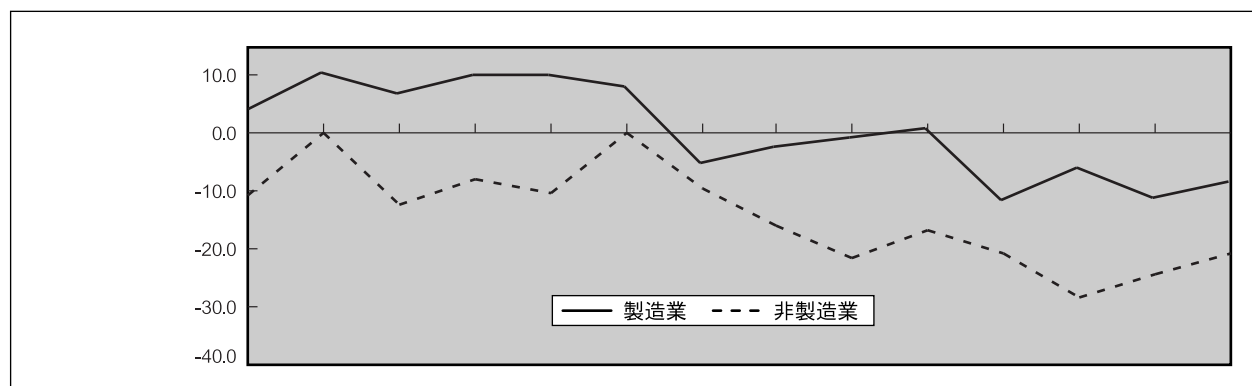


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

期別 種別		17 年		18 年				19 年				20 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	21.5	25.3	23.9	25.7	24.5	22.4	18.1	16.7	20.0	19.9	14.6	16.3	11.4	9.2		
普	通	60.8	59.5	58.9	58.6	60.9	62.8	58.5	64.0	58.9	60.8	59.1	61.2	65.7	73.0		
悪	い	17.7	15.3	17.3	15.7	14.6	14.8	23.4	19.4	21.1	19.4	26.3	22.5	22.9	17.8		
D . I .		3.8	10.0	6.6	9.9	9.9	7.7	-5.3	-2.7	-1.1	0.5	-11.7	-6.2	-11.4	-8.6		

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

期別 種別		17 年		18 年				19 年				20 年				見込	予測
		7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
良	い	14.4	19.4	14.6	14.3	12.6	19.5	17.1	10.5	7.8	9.8	10.8	9.7	8.1	9.2		
普	通	60.6	61.1	58.5	63.6	64.7	61.0	56.5	63.2	63.1	63.7	57.7	52.2	59.5	61.1		
悪	い	25.0	19.4	26.9	22.1	22.7	19.5	26.4	26.3	29.1	26.5	31.4	38.2	32.4	29.7		
D . I .		-10.6	0.0	-12.3	-7.8	-10.1	0.0	-9.3	-15.8	-21.4	-16.7	-20.6	-28.5	-24.3	-20.8		



(1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数 D.I.「良い－悪い」は、20年4～6月期実績は▲17.6と前期比1.2ポイント悪化した。

先行きについて、20年7～9月期のD.I.は、今期比0.5ポイント悪化する見込となっている。しかし、10月～12月の予想では、D.I.はマイナスであるが、やや改善予測となっている。

(2) 業況判断指数D.I.の20年4～6月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期よりマイナスである。非製造業は前期より7.9ポイント悪化した。

先行きについてのD.I.は製造業は、悪化見込みであるが、非製造業については、改善見込となっている。D.I.はマイナスが大きく20ポイント以上で推移している。

製造業の業況判断指数D.I.は、先行きの20年7～9月期見込を▲11.4と5.2ポイント悪化見込となっている。しかし、20年10～12月期をマイナスD.I.であるが改善予想をしている。

非製造業の業況判断指数D.I.は、20年7～9月期予想は▲24.3とマイナスであるが改善見込となっている。20年10～12月期はさらに改善見込となっている。